



令和7年度 第1回 こども部会（令和7年6月5日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	片上委員	西成区の独自の政策について、他区に向けて「西成区ではこのような政策を実施しています」とアピールを行っているのか？	プレーパーク事業については、積極的な広報活動を行っておりますが、塾事業については、区内の小中学生が対象となるため、他区に向けて広報は行っておりません。今後、西成区では、充実した教育環境を活かし、転入者の増加を目指して、広報紙などを通じて、西成区独自の取組をどこまで周知していくかも検討しながら進めてまいりたいと考えています。	当日の回答のとおり	子育て支援担当
2		西成区には、様々な事情がある子や日本語を理解できない外国籍の子どもが多いと聞く、このような状況が大阪市全体の成績と比べた際にどのような影響を与えているか、詳細な分析や統計データはあるのか。また、日本語を理解できていない外国籍の子どもたちが増えているなどの西成区の成績が下がる要素がある中で、区全体の成績のパーセンテージが変わっていないということは、実質的には成績が向上しているということの意味だと思うが、その具体的な数値を把握しているかについても教えてほしい。	西成区の具体的な成績データは公表できませんが、トータル点数には特別な事情がある子どもたちも含まれております。西成区では、「外国につながる児童生徒の学習言語定着事業」など、様々な事業を展開して学力向上をめざしており、大阪市の平均に着実に近づきつつあると考えております。また、外国籍の子どもが多い学校は、学力テストの結果に影響があるかもしれませんが、一方で文化交流が可能となり、それが生きる力へとつながる側面もあり、西成区のいいところをもっと広めるとともに、外国籍の方をどのように区の力に変えていくかが大切だと考えます。		
3	豊島委員	外国籍の子どもたちが増える中で、西成区の具体的な教科ごとの成績データを示して欲しい。また、日本語を理解できていない外国人家庭に対して、より細やかで効果的な支援を行う必要があると思う。このような対応をすることで、西成区の学力は上がると思う。	外国籍の子どもたちへの支援については、教育委員会が初期の日本語教育を行うプレクラス、日本語指導教育センター校への通級支援及び在籍校への日本語指導協力者の派遣を通じて、幅広い支援を行っております。また、西成区独自の取組として、他にも「帰国・来日の子どもへのサポート事業」を実施しており、より効果的な方法を検討しつつ、今後も引き続き支援に努めてまいります。		
4	奥野委員 【意見票】	この会議の趣旨とは違いますが、6月4日に千本小学校の鍵の点検があり災害の際、避難される人達を誘導する必要があります。防災リーダー用の簡単なマニュアルが有ればいいと思った。 また、用途別の各部屋に貼る名称は日本語だけでなく英語、その他の言葉で表記された物がいいと思う。	-	西成区におきましては、災害が発生した場合に速やかに災害時避難所が開設できるよう各地域において避難所の鍵を管理していただいております。 また、地域防災リーダーをはじめとする地域の皆さまが主体となり避難所の開設・運営を行えるよう、各避難所の備蓄倉庫に「避難所開設・運営マニュアル」を配備しております。 「避難所開設・運営マニュアル」には、避難所の開設・運営に必要な各種帳票類のほか、多言語対応の案内なども準備しているところです。 引き続き、災害時の避難誘導について地域防災訓練等で確認するとともに、頂いたご意見の趣旨を踏まえて、外国人住民にも配慮した「避難所開設・運営マニュアル」の整備・更新等を行うなど地域防災力の向上に努めてまいります。	市民協働課